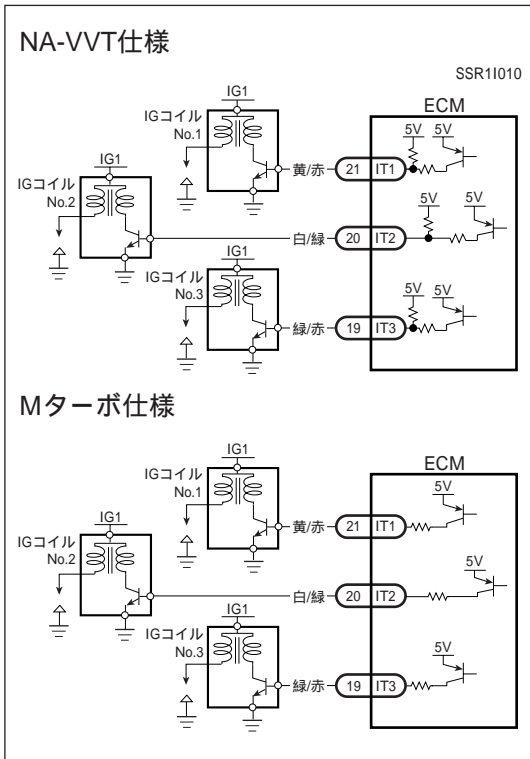


イグニッションコイル

点検

1. イグニッションSW ONの状態、ハーネス側のイグニッションコイル+B端子がバッテリー電圧になるか点検する。
2. ハーネス側のイグニッションコイルアース端子は常時アースされているか点検する。
3. クランキング中に、イグニッションコイルのIT端子にIT波形が入力されているかオシロスコープを使用して点検する。波形一覧 NA-VVT仕様はSEC 1A1-7、Mターボ仕様はSEC 1A2-7参照)
4. 不具合がある場合には、各回路について、断線、バッテリー短絡、配線同士の短絡、及びコネクタの接続状態について点検を行なう。
5. ハーネス、スパークプラグ共、正常であるにもかかわらず、スパークしない場合には、イグニッションコイルを交換（新品または他の正常な気筒のもの）して再点検を行なう。
6. ハーネス、スパークプラグ、イグニッションコイル共、正常であるにもかかわらず、スパークしない場合には、コントローラを交換して再点検を行なう。



注意：パワートランジスタが回路内に内蔵されているため、1次コイル、2次コイルの抵抗は測定できない。